

京 都 支 部

■ 京都府案内

京都というと、京都市周辺を思い浮かべる方が多いと思いますが、実は、京都府は、北は伊根町の舟屋群（1階が舟の“車庫”で2階が住居という家々）、天橋立、南は宇治茶、和東茶などの茶畑と驚くくらい南北に広いのです。

京都の光景はよくドラマにも登場します。写真は京都市内出町柳駅の近くですが、鴨川の置き石のなかには亀や鳥の形のものがあります。石をつたって川を渡れます。近くに來られたときには探してみてくださいね。



出町柳付近（京都市内）

■ 支部活動

京都支部は会員約160名。毎年5月の総会では「お寺でコンサート」「自然の妙を地球の隈々から」「仏師が語る」と京都らしさと広い視野を織り交ぜて企画しています。

2014年5月11日（日）平成26年度の京都支部総会が開催されました。講演は「中尊寺本尊釈迦如来像の造立に携わって——仏師坪田最有が語る」。スクリーンにたくさんの貴重な写真を映しながら仏像制作にまつわる話をしてくださいました。



2014年講演会「仏師坪田最有が語る」

総会&懇親会は30代から90代までの22名が出席。保育園を探している産休中の会員が、孫を預けている先輩会員から情報をもらったなどの温かい交流もありました。

総会終了後には「工房を訪ねたい」との声が上がり、坪田氏にお願いして、後日、有志8名で訪問。細かく慎重な作業の一端を垣間見たような気がしました。

■ 和紙のブローチで復興支援

京都支部には、折り紙が好きな会員がいます。東日本大震災後、和紙でブローチを作って、売り上げを復興支援のために寄付し、26年7月には福島県いわき市に太陽光発電外灯が設置されたという報告がありました。これからも続けていかれるとのこと。支部会員も引き続き協力していきます。

このブローチをとおしての復興支援は近畿地区にも広がり、近畿懇親会では多くの出席者がこのブローチを胸につけてくれています。



カラフルな和紙のブローチ